

地球科学分野、鈴木利孝研究室

博士前期課程 1 年 江刺和音

スイスアルプス氷河実習

北海道大学国際南極大学カリキュラムの一環として、スイスアルプス氷河実習に参加しました。実習中は、スイス国内各地にある複数の氷河・氷河地形を観察し、近年の気候変化によって氷河がどのような影響を受けているのか、氷河後退が周囲の地形や人間活動に与える影響について学びました。

Rhone 氷河では、実際に野外観測を行いました。観測内容は GPS による氷河表面標高変化の測定や Rhone 氷河を源流とする Rhone 川の流速・水圧・水質調査などです。Rhone 川の観測データからは近年継続的な後退が確認されている Rhone 氷河の融解量を推定しました。

野外観測の解析結果はチューリッヒに戻った後、スイス連邦工科大学で発表・討論を行いました。また同大学では、Heinz Blatter 教授、Atsumu Ohmura 教授をはじめとする先生方の講義を受講しました。

今回の実習では、スイスアルプスという恵まれた環境で、最先端の氷河研究に触れることができました。さらに、実際に多くの山岳氷河を観察し、近年の氷河変動を捉えた現地調査を行ったことは、自身の今後の研究につながる貴重な経験になりました。



写真 1 : Gorner 氷河にて



写真 2 : Rhone 氷河での GPS 測量の様子